

令和5年度 事業計画



【令和5年度福祉標語】

その勇氣 だれかにとっては 救いの手

 社会福祉法人 郡上市社会福祉協議会

令和5年度 社会福祉法人 郡上市社会福祉協議会事業計画

《理 念》

支えあい つながりづくり まちづくり
～誰もが安心して暮らすことができるまちづくりを目指します～

《基本方針》

- 1 協働や連携による事業活動の展開
- 2 利用者本位の事業活動を推進
- 3 福祉ニーズを把握し総合的な支援活動を実施
- 4 情報公開と説明責任を果たし信頼される事業活動を実施
- 5 法令を遵守した事業活動の実施
- 6 自立した経営基盤の確立

《概 要》

令和4年度においては、新型コロナウイルス感染第8波により職員及びサービス利用者に感染者が急増し事業所を休業しなければならない状況となりました。他方、政府対策本部において、新型コロナの感染症法上の分類を、本年5月8日から季節性インフルエンザと同じ5類に位置付けることが決定されました。これに伴い、今後、新型コロナへの対応は大きく見直されることとなります。しかし、感染症の脅威から完全に開放されたわけではありませんので、引き続き感染予防に細心の注意を払い社協活動を進めていきます。

令和5年度は、2年目となる第4期「地域福祉活動計画」を推進するとともに、小地域活動を行う地区社協を柱に複合化・多様化する地域の課題や問題に対して、地域に暮らす皆さんが我が事として受け止め、解決のための支え合いの仕組みを構築し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて丸ごとつながる「地域共生社会」の実現を目指すものとしています。

個別支援活動では、令和4年度より受託している成年後見制度利用促進事業において、地域連携ネットワークの核となる「成年後見支援センター」に常勤職員を1名配置し、司法、行政、福祉・医療、地域などの関係者と連携しながら、成年後見制度を必要とする方が安心して制度利用できるよう地域で支える体制を構築していきます。

事業所の経営においては、令和6年度介護保険法及び障害者総合支援法改正に向け関係機関より情報収集及び対応を検討し安定した経営を目指します。また、地域の利用者状況に合わせて定員の見直しと指定管理施設の今後について行政と調整します。通所介護事業所については、個別機能訓練加算取得に向け、体制を整えるとともに職員育成を行います。

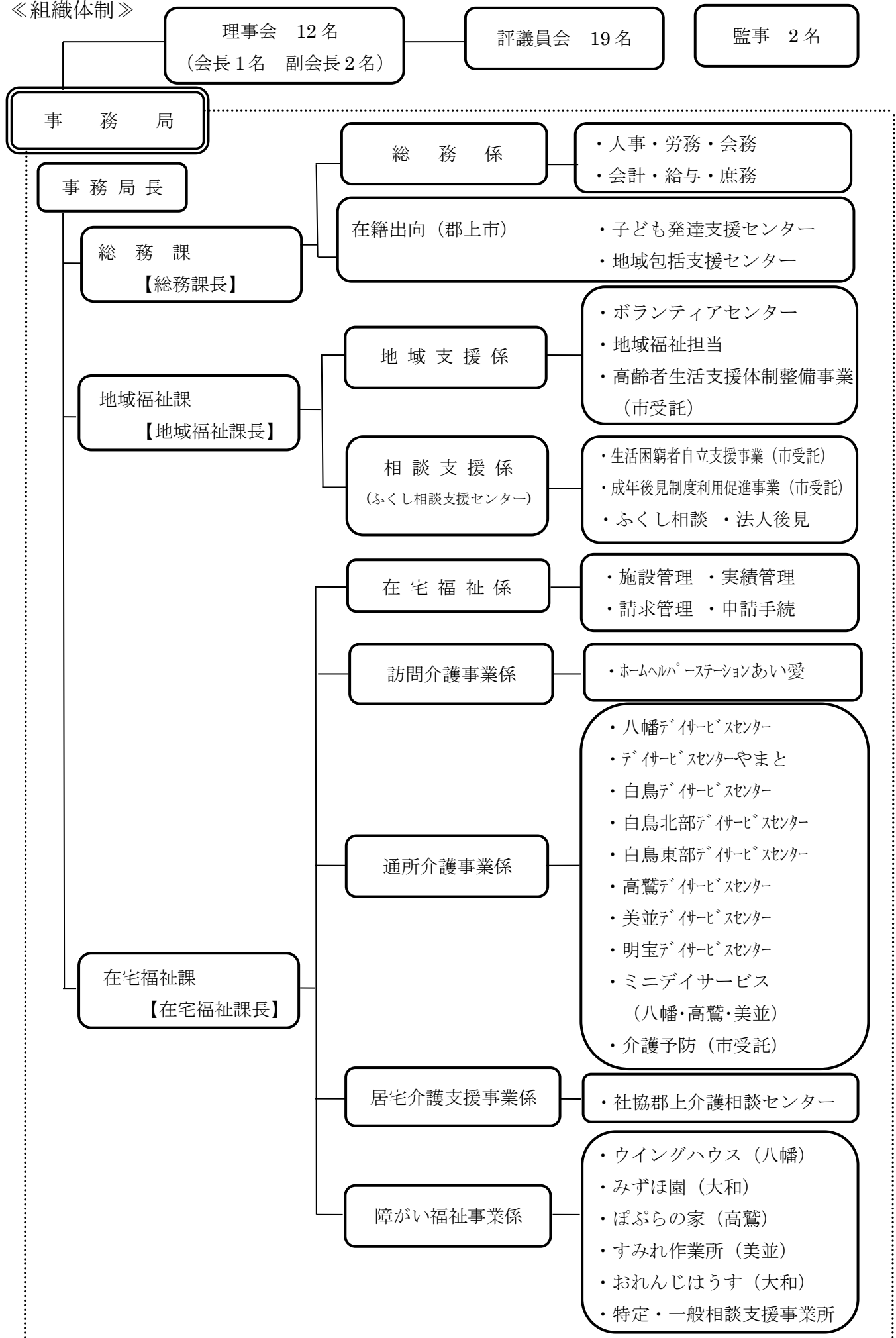
令和4年度に見直した「発展強化計画」を推進するとともに、人材育成チームを中心に検討した研修計画に基づき人材育成を行っていきます。また、オンライン会議の積極的利用や令和4年度モデル的に実施した年末調整事務のペーパーレス化を全職員で実施し業務効率化を図りデジタル化への展開を推進していきます。

全事業所で策定した自然災害及び感染症に対応する事業継続計画（BCP）の見直しを随時行います。

目 次

1 市民による支え合い助け合いのあるまちづくり	
1-1 地域共生社会を目指した地域福祉活動の拠点・住民組織づくり	4
1-2 地域のつながりづくり	5
1-3 市民活動・ボランティア活動の推進	6
1-4 災害時に対応できる地域づくり	6
2 安心して地域で暮らせる仕組みづくり	
2-1 相談支援体制の整備	7
2-2 市民に分かりやすい情報の提供	8
2-3 サービス利用者の権利を守るための取り組み	9
3 福祉のまちを育む人づくり・環境づくり	
3-1 福祉共育の推進	11
3-2 快適で暮らしやすい生活環境の整備	13
4 在宅福祉サービス事業の経営	14
5 社会福祉協議会の基盤強化	
5-1 組織運営の基盤強化	18
5-2 組織の充実	18
5-3 財政基盤の強化	19
5-4 職員体制の整備と資質向上	19
6 その他団体事務等	21

《組織体制》



《事業計画》

1 市民による支え合い助け合いのあるまちづくり

1-1 地域共生社会を目指した地域福祉活動の拠点・住民組織づくり

(1) 地区社協活動推進事業		事業費	3,779千円
目的	○地域住民同士のつながりを構築するとともに、地域の福祉課題解決に向けて取り組む地区社協の運営及び事業への支援をします。		
時期	通年	対象者(人数)	市民
内容	1 各地区社協活動計画の目標達成に向けた後方支援と財源確保 2 地区社協運営委員のボランティア活動保険への加入 3 地区社協連絡会の開催		

(2) 生活支援体制整備事業（市受託事業）		事業費	18,164千円
目的	○「住民主体」の地域づくりができる体制づくりや住民自らが「支え合い活動」を行うことができるような仕組みづくりを支援します。		
時期	通年	対象者(人数)	市民・活動団体
内容	1 生活支援コーディネーターの配置 2 支え合い活動事例集の作成 3 第1層協議体に向けた研修会・座談会の開催 4 ささえ愛講座・フォローアップ講座の開催（地区社協と連携） 5 第3層協議体としての話し合い会議の開催		

(3) サロン活動推進事業		事業費	2,051千円
目的	○生きがいや仲間づくり、見守り、心身の健康づくり、孤立・閉じこもり予防、防犯啓発など、地域のつながりを深めるサロン活動を支援します。		
時期	通年	対象者(人数)	障がい者・高齢者他 R5.2.1現在（登録199団体）
内容	1 サロン立上げや運営の相談・支援 2 サロン事業助成の実施（1団体につき上限1万円） 3 サロン交流会の実施 4 ケーブルテレビ等を活用したサロン活動の周知 5 サロン活動についてのアンケート調査・分析・広報・周知		

(4) 買い物ツアー事業（歳末たすけあい事業）		事業費	12千円
目的	○買物困難者等を対象に、社協が所有する車両で送迎をし、日用品の買い物を支援します。		
時期	12月	対象者(人数)	「今日もまめなかな事業」契約者等
内容	1 買い物ツアーの実施（南北各1回程度）		

1-2 地域のつながりづくり

(1) 福祉委員活動推進事業		事業費	340千円
目的	○地域の見守りの一員となり一人暮らし高齢者・障がい者等の見守り、福祉関係者との連携及び地域のつながりの構築に努めます。		
時期	通年	対象者(人数)	福祉委員 R5.2.1 現在 (630人)
内容	1 福祉委員活動ガイドブックの更新 2 障がい者に関連する福祉委員の選任と助成 3 福祉委員のボランティア活動保険への加入 4 福祉委員活動推進に関する事務支援		

(2) 配食ボランティア支援事業		事業費	547千円
目的	○地域で高齢者・障がい者世帯等の見守り活動を行う「配食サービスボランティア」の活動を支援します。		
時期	通年	対象者(人数)	配食サービスボランティア R5.2.1 現在 (7団体)
内容	1 配食サービス支援助成の実施 (1食300円上限) 2 社協だよりやボランティアだより、SNSを活用した事業周知		

(3) 「今日もまめなかな！」見守り事業		事業費	36千円
目的	○一人暮らし高齢者世帯等と契約を結び、エリア担当者等が電話・訪問により安否確認や相談受付を行います。また、連絡がとれない際に地域の協力者と連携し対応します。		
時期	通年	対象者(人数)	契約者 R5.2.1 現在 (13人)
内容	1 電話・訪問による安否確認、相談受付 2 利用希望者への説明と契約 3 関係機関・団体への事業周知		

1-3 市民活動・ボランティア活動の推進

(1) ボランティア活動推進事業 (ボランティアセンター)		事業費	1, 132千円
目的	○ボランティア活動の窓口として相談、情報提供等の支援を行います。また、ボランティア連絡会の支援を通じて、ボランティア活動の技術や質を向上する研修、つながりづくりのための交流会等を開催し、活動を推進します。		
時期	通年	対象者(人数)	ボランティア登録者 R5.2.1 現在 (2, 057人)
内容	1 ボランティアセンターの運営 (相談・情報提供・マッチング等) 2 ボランティア活動保険助成の実施 (1人250円) 3 ボランティア活動事業助成の実施 (上限3万円×10団体) 4 ボランティア研修会・交流会等の開催 (ボランティア連絡会との共催) 5 ボランティア情報誌の発行 (年2回) 6 ボランティア連絡会の支援		

(2) 福祉団体等支援事業		事業費	333千円
目的	○福祉団体等 (ボランティア・サロン含む) が活動する際に、多数の者で移動することに苦慮していることから、社協が所有する10人乗りワゴン車の貸出を行い活動の支援を行います。		
時期	通年	対象者(人数)	福祉団体等
内容	1 福祉団体等 (ボランティア・サロン含む) に対する車両の無料貸出し (運転手及び燃料使用分は利用団体対応)		

1-4 災害時に対応できる地域づくり

(1) 災害ボランティアセンター事業		事業費	128千円
目的	○平成30年7月の豪雨災害を経て、防災や減災など災害に対応するため、防災・減災、災害ボランティアセンター設置の技術や知識を身に付けるとともに、地域の被災に備えた防災ボランティアの意識統一を図ります。また、災害時相互応援協定締結社協との連携強化を図ります。		
時期	通年	対象者(人数)	防災ボランティア登録者 R5.2.1 現在 (38人)
内容	1 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施 2 防災ボランティア研修会・応援協定締結団体との合同研修の実施 3 防火防災市民講座の実施 (女性防火クラブと共催) 4 大規模災害発生時の職員派遣、災害ボランティア派遣 5 防災士の養成 (防災リーダー育成講座への参加) 6 職員向けの災害ボランティアセンター研修の実施		

2 安心して地域で暮らせる仕組みづくり

2-1 相談支援体制の整備

(1) ふくし相談事業		事業費	604千円
目的	○多様な相談の窓口として、本人の不安解消を図ると共に必要に応じ適切な専門機関につなげます。		
時期	通年	対象者(人数)	市民
内容	1 無料法律相談の実施（第3火曜日、1回30分単位で8人、地域巡回） 2 心配ごと相談の実施（月曜日から金曜日随時受付） 3 ふくし相談広報（音声告知、文字放送、広報等にて広く周知を図る）		

(2) 生活困窮者自立支援事業（市受託事業他）		事業費	21,765千円
目的	○郡上市からの委託を受け、生活困窮者（経済的困窮者・社会的孤立者等）に対し地域資源を活用また開発し、相談支援員による伴走支援を行うことで自立支援につなげます。		
時期	通年	対象者(人数)	生活困窮者
内容	1 自立相談支援事業・就労準備支援事業・家計改善支援事業の実施 2 生活困窮者食料支援事業の実施（フードバンク、フードドライブ、協力団体・事業者の支援） 3 生活用品貸出し事業の実施 4 お互いさま事業の実施 5 生活あんしんお預かりサービス事業の実施 6 エンさぼ就労支援事業の実施		

(3) 生活福祉資金貸付（県社協受託事業）		事業費	1,234千円
目的	○低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯等に対し、資金貸付の受付と必要な相談支援を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長促進、安定した生活を送れるよう実施します。		
時期	通年	対象者(人数)	貸付利用者実数 R5.2.1 現在（320件） 内：コロナ特例貸付288件
内容	1 相談受付・申請受付 2 滞納者償還訪問 3 事業周知（社協だより掲載、関係機関等への事業紹介）		

(4) 低額つなぎ資金貸付		事業費	500千円
目的	○生活保護、生活福祉資金の申請者、又はふくし相談支援センター相談申込者に対し、収入が見込まれるまでの期間、一時金の貸し付けを行います。		
時期	通 年	対象者(人数)	生活保護・生活福祉資金申請者 ふくし相談支援センター申込者
内容	1 相談受付 2 貸付（1万円を原則とし2万円を上限、必要性が認められれば最大5万円）		

(5) 歳末たすけあい応援事業（歳末たすけあい事業）		事業費	234千円
目的	○ふくし相談支援センター利用世帯に対し、年末に正月用品等を地域の支援者と届け、安心して新年を迎えてもらい、生活意欲の向上を支援します。		
時期	12月	対象者(人数)	ふくし相談支援センター利用世帯
内容	1 担当民生委員と正月用品等（灯油、ミニおせち、入浴券から選択）を対象世帯に配布		

2-2 市民に分かりやすい情報の提供

(1) 社協広報事業		事業費	2,325千円
目的	○本会の取り組みや地域での活動及び福祉サービスや助成金等の情報提供を行い、福祉活動を広く広報します。		
時期	通 年	対象者(人数)	市 民
内容	1 年6回広報誌の発行（奇数月発行、全戸配布、表紙・裏表紙カラー印刷） 2 ホームページの運用及びSNSの活用（ホームページの再構築） 3 広報講座の実施（社協職員対象）		

(2) 社協PR事業		事業費	95千円
目的	○本会の事業・活動を分かりやすく動画等でPRし、理解と支援を推進します。		
時期	通 年	対象者(人数)	市 民
内容	1 社協PR動画（サロン活動について）の作成とケーブルテレビ・YouTube等での公開 2 事務所職員の社協ポロシャツ・ウインドブレーカーの着用 3 動画撮影向上のための研修会への参加		

(3) 福祉フェスティバル		事業費	800千円
目的	○本会の事業及び福祉関係団体の活動を市民に周知し、福祉活動の重要性を理解していただくため地区社協等と連携し実施します。		
時期	9月末の日曜日	対象者(人数)	市民
内容	1 地区社協及び市内の福祉関係団体と連携し実施 2 会長表彰・感謝の実施 3 福祉標語の投票、決定 4 福祉フェスティバル企画委員会の開催		

(4) 社協劇団ひまわり		事業費	20千円
目的	○職員・ボランティアによる「社協劇団ひまわり」の寸劇を通し、市民に福祉や社協事業を楽しく、分かり易く伝えます。		
時期	通年	対象者(人数)	市民
内容	1 寸劇の実施（関係機関・団体・企業・学校等） 2 劇団員の募集		

2-3 サービス利用者の権利を守るための取り組み

(1) 日常生活自立支援事業（県社協受託事業他）		事業費	2,457千円
目的	○認知症等の理由により判断能力が不十分な方に対し、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類預かり等のサービスを提供することにより、自立した生活を実現するための支援を行います。		
時期	通年	対象者(人数)	R5.2.1 現在（22人）
内容	1 相談・申請・利用契約・支援計画の作成 2 生活支援員等による支援 3 事業周知 4 生活支援員等の研修参加 5 貴重品保管管理事業の実施 6 生活支援員情報交換会の開催		

(2) 法人後見事業		事業費	264千円
目的	○認知症等の理由により判断能力が不十分な方に対し、家庭裁判所より後见人等として選任を受け、身上監護、財産管理等の支援を行うことにより、安心した生活が実現するため実施します。		
時期	通年	対象者(人数)	R5.2.1 現在（1人）
内容	1 法定後見業務の実施 2 法人後見運営委員会の開催（年1回）		

(3) 成年後見制度利用促進事業(市受託事業)		事業費	7,414千円
目的	○成年後見制度について周知啓発を行うとともに、成年後見制度利用促進基本計画における中核機関として、市民の方や事業所からの相談に対応します。		
時期	通 年	対象者(人数)	市民
内 容	1 成年後見制度の広報、啓発 2 成年後見制度に関する相談対応 3 個別相談・ケース会議・アセスメント会議の開催 4 後見人に対する支援		

(4) 高齢者・障がい者世帯除雪助成		事業費	220千円
目的	○一人暮らし高齢者、高齢者世帯等の居住する家屋を積雪による倒壊等から守り、安心して生活ができる支援として実施します。		
時期	11月頃～2月	対象者(人数)	高齢者世帯、障がい者世帯で対象条件に該当する世帯
内 容	1 除雪助成の実施(1世帯5千円を上限)		

(5) 交通遺児激励金支給		事業費	182千円
目的	○交通事故により親等を失った遺児に対し健やかに、たくましく成長し勉学に励むことができるように激励金を支給します。		
時期	5月	対象者(人数)	対象条件に該当する方 R5.2.1 現在(3人・2世帯)
内 容	1 激励金支給(乳幼児4万円、小学生5万円、中学生6万円、高校生7万円) 2 修学旅行資金支給(小学生2万2千円、中学生5万3千円、高校生10万円) 3 進学時及び就職時の支度金支給(小学校・中学校進学時2万円、高校進学時3万円、大学等進学時5万円、就職時5万円)		

(6) 法人連携プロジェクト事業		事業費	68千円
目的	○地域課題を発掘し、市内の社会福祉法人が連携し公益的な事業を実施します。		
時期	通 年	対象者(人数)	市内4法人
内 容	1 公益的取り組みに向けた法人連携プロジェクト会議の開催 2 各法人事業、イベントへの職員参加及び合同研修会の実施 3 市内社会福祉法人へのプロジェクト参加の呼び掛け 4 財源の確保		

3 福祉のまちを育む人づくり・環境づくり

3-1 福祉共育の推進

(1) 介護職員初任者研修		事業費	880千円
目的	○介護業務従事希望者、ボランティア活動者、在宅介護者等の介護の知識・技術を向上し、地域の福祉力が高まることを目的に研修を実施します。		
時期	8月～12月	対象者(人数)	18歳以上の市民・在勤者 (定員16人)
内容	1 介護職員初任者研修の開催 (昼間開催(講義:平日3日/週・演習:土日2日/週)) 2 介護職員初任者研修準備会議の開催 3 外部講師の増員(市内法人等への理解促進)		

(2) ふくし入門講座		事業費	137千円
目的	○福祉について学ぶための「ふくし入門講座」を開催し、新規ボランティアの発掘につなげます。		
時期	7月～8月	対象者(人数)	市民(定員30人)
内容	1 ふくし入門講座の開催(はなしの聴き方講座、手話講座)		

(3) ふくし見学会		事業費	40千円
目的	○市内の福祉施設やサロン等を見学する機会を作り、福祉の現状を知ってもらうことにより、自らの地域を考える機会とします。		
時期	8月～9月	対象者(人数)	市民
内容	1 ふくし見学会の実施(市内の福祉施設・サロン等の見学)		

(4) 出前講座		事業費	3千円
目的	○福祉の知識や技術が身に付けられる手軽な手段として、グループ、団体や自治会等に対し出前講座を実施します。		
時期	通年	対象者(人数)	市民
内容	1 出前講座の実施(レクリエーション・エンディングノート他) 2 一般企業への出前講座の開催		

(5) 福祉推進校事業		事業費	1, 272千円
目的	<p>○児童・生徒が講義や体験を通じ障がい者や高齢者への理解を深め、普段の生活や地域の中で「支え合う心」を育み、福祉の充実につなげるために実施します。</p> <p>○児童生徒が夏休みを利用し、自主的にボランティア活動や福祉の職場体験に参加することで福祉への理解と「支え合う心」を育み、地域福祉を推進するきっかけづくりとします。</p>		
時期	通年（夏福祉体験は夏休み期間中）	対象者(人数)	福祉推進校：市内の小・中・高等学校・特別支援学校 R4 年度 32 校 夏福祉体験：市内の小学校 5・6 年生・中学生・高校生
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 福祉推進校指定及びメニュー事業助成の実施（1校3万円上限） 2 福祉体験学習への出前講座の開催 3 教員を対象とした研修会と福祉推進校事業報告会を兼ねて開催 4 市内中学1年生を対象に福祉標語の募集 5 夏福祉体験実施（社会教育課と共催） 		

(6) こども支援事業		事業費	564千円
目的	<p>○福祉に関わる機会やきっかけをつくるため、幼稚園・保育園等が行う福祉学習を支援します。また、児童福祉に関する活動に協力し、児童福祉啓発を行います。</p>		
時期	通年	対象者(人数)	保育園・幼稚園 R5.2.1 現在（17施設）
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 福祉学習に対する助成の実施（児童1人500円上限） 2 児童福祉啓発活動への協力 3 子ども食堂への支援 		

3-2 快適で暮らしやすい生活環境の整備

(1) 福祉車両貸与事業		事業費	284千円
目的	○移動に車いすを必要とする者に福祉車両を貸出し、買い物、通院等の生活の便宜を図るとともに、社会参加できる交通手段を創出します。		
時期	通年	対象者(人数)	市民
内容	1 電動リフト装着軽自動車を無償貸与（燃料使用分は利用者負担） 2 専用車両3台及び事業所車両の有効活用 3 利用促進の広報・啓発の実施		

(2) お出かけ安心マップの作成		事業費	0千円
目的	○全地域のバリアフリートイレ（オストメイト対応トイレ含む）や、赤ちゃんの駅等を示したマップを作成します。		
時期	通年	対象者(人数)	市民
内容	1 お出かけ安心マップの作成 2 現状調査の実施		

4 在宅福祉サービスの経営

(1) 通所介護、訪問介護事業所連絡会の開催		事業費	0千円
目的	○郡上市内で運営している通所介護及び訪問介護事業所職員の資質向上と課題解決のために事業所連絡会を開催し、利用者の自己実現、家族・地域社会の発展、地域福祉・在宅福祉の向上を目指します。		
内容	業務内容		
	1 通所介護、訪問介護事業所連絡会の開催 2 定例会及び研修会の開催 3 職員交流会の開催		

(2) 通所介護事業所の経営		事業費	444,286千円
目 標	<p>(資質の向上)</p> <p>○介護保険の基本理念である「自立支援」を念頭に、安心・安全なサービスが提供できるよう、介護・接遇の技術や意識向上の研修会等に積極的に参加します。</p> <p>(地域交流の推進)</p> <p>○住民の皆さんやボランティア、学校との交流を継続し、地域における福祉学習の場となるように地域とのつながりを深めます。</p> <p>○運営推進会議を年2回開催してサービスの質の確保並び地域に開かれたサービス提供を促進します。</p> <p>(健全な経営)</p> <p>○通所介護事業全体で職員一人の利用者に対する職員対応人数2.75人以上を目指し、安定した経営を図ります。</p> <p>○全事業所個別機能訓練加算（I）取得に向け、事業所の体制を作り職員育成を行います。</p> <p>○事業実施地域の拡大に向けた取り組みをおこない、効率的な利用者受け入れ体制を整え、介護報酬増収につなげます。</p>		
	事業所の概要	事業所名	定 員
	郡上市八幡デイサービスセンター	20人	月曜日～金曜日
	デイサービスセンターやまと	45人	月曜日～金曜日
	白鳥デイサービスセンター	20人	火曜日～土曜日
	白鳥北部デイサービスセンター	18人	月曜日～金曜日
	白鳥東部デイサービスセンター	18人	月曜日～金曜日
	高鷲デイサービスセンター	25人	月曜日～金曜日
	美並デイサービスセンター	35人	月曜日～金曜日
	明宝デイサービスセンター	30人	月曜日～金曜日
	郡上市社協全体	211人	

(3) 居宅介護支援事業所の経営		事業費	72,294千円
営業日	月曜日～金曜日		
目 標	<p>(資質の向上)</p> <p>○事業所の一員として自身のケアマネジメントについて第三者に根拠を持って説明できるよう自己研鑽を図るため、様々な研修会に積極的に参加します。</p> <p>(多職種連携)</p> <p>○地域全体の課題把握やその課題を解決するため地域福祉課と在宅福祉課が連携して地域包括ケアを推進します。</p> <p>(効率的な経営)</p> <p>○ICT等(スマートフォン、タブレット等)の活用による業務効率化を図り、経営の視点を高め、一人当たりの持ち件数の平均化と介護計画作成率90%以上(1人31.5件)を目指します。</p>		
事業所の概要	事業所名	業務内容	
	社協郡上介護相談センター	<p>1 居宅サービス計画を作成し、サービス事業者や関係機関とサービス受給に関する調整を図り給付管理を行います。</p> <p>2 市から委託を受け、介護予防サービス計画の作成を行います。</p> <p>3 市から委託を受け、要介護認定調査を行います。</p> <p>4 各地域に毎週介護相談日を設け対応します。</p>	

(4) 訪問介護事業所の経営		事業費	44,125千円
営業日	毎日	営業時間	早朝(6時から) 夜間(21時まで) 対応
目 標	<p>(資質の向上)</p> <p>○介護技術・接遇等の研修会に積極的に参加し、定期的に振り返りを行うことで、専門的知識等の習得や介護技術の維持・向上を図り、質の高いサービスを提供します。</p> <p>(地域交流の推進)</p> <p>○地域住民に気軽に声をかけてもらえる関係づくりを目指すと共に、訪問介護員(ホームヘルパー)のイメージアップのためのPR活動に努め、人材の確保につなげます。</p> <p>(健全な経営)</p> <p>○記録業務削減ソフトの機能を最大限に活用し、更なる業務削減に努め事務を効率化させることで訪問件数を増やします。</p>		

事業所の概要	事業所名	業務内容
	ホームヘルパーステーションあい愛	1 訪問介護員を派遣し、身体介護・生活援助を行います。

(5) ミニデイサービス事業		事業費	1,785千円
目 標	(資質の向上) ○多数の介護予防メニューが提供できるよう知識や技術の向上に努めます。 (個別支援の充実) ○個人のニーズに合わせた運動機能が向上できる支援計画の作成に努めます。 ○コグニサイズを活用した脳トレメニューを取り入れた支援を行います。		
事業所の概要	実施場所	業務内容	
	健康福祉センター「さつき苑」 高鷲デイサービスセンター おなび生きがいセンター	1 週1回2時間程度、介護予防活動を行います。 2 送迎を行います。	

(6) 障がい福祉サービス事業所の経営		事業費	127,989千円
目 標	(地域交流の推進) ○利用者と住民とがつながる機会を作り、障がいに対する理解を深めます。 (個別支援の充実) ○本人の生活ニーズの課題を一緒に考え、能力に合わせた適切な支援を行います。 (健全な経営) ○障がいサービス事業所全体でサービス等利用計画に対する利用率93%を目指し、安定した経営を図ります。また、平均工賃については、事業所ごとに現在の区分を維持し、さらに次の区分を目指します。 ○オンラインショップの充実を図り、自主製品の売り上げにつながるように努めます。		
事業所の概要	事業所名	定 員	営業日
	ウイングハウス	27人	月曜日～金曜日
	みずほ園	20人	月曜日～金曜日
	ぽぷらの家	20人	月曜日～金曜日
	すみれ作業所	20人	月曜日～金曜日
	郡上市社協全体	87人	

(7) 障がい者短期入所施設の経営		事業費	4, 533千円
目 標	(個別支援の充実) ○余暇時間の充実を図り、利用者に応じた支援を行います。 ○家庭状況に応じて緊急時の対応を行います。		
事業所の概要	事業所名	定 員	営業日
	郡上市社協おれんじはうす	2人	日曜日～土曜日

(8) 特定・一般相談支援事業所の経営		事業費	5, 035千円
目 標	(資質の向上) ○研修会に積極的に参加し、ケアマネジメント技術の向上に努め、利用者から信頼される事業所を目指します。 (個別支援の充実) ○障がいのある方が地域で安心して生活できるように、本人および家族の意向を聞き取り、その実現に向けた支援計画の作成に努めます。 (健全な経営) ○タブレットの活用を継続して行い、効率的な業務を実施します。		
事業所の概要	事業所名	業務内容	
	郡上市社会福祉協議会 障がい者相談支援事業所	1 専従職員1人体制で行います。 2 障がいのある方の福祉サービス利用に関する相談・助言を行います。	

(9) 一般介護予防事業の受託		事業費	1, 756千円
目 標	○郡上市からの委託を受けて、基本チェックリスト該当の高齢者等に対し、元気アップ教室及びフレイル予防教室を開催し指導員が支援を行うことで自立支援につなげます。 ○通いの場として楽しく続けることができるタイムスケジュール作成に努めます。		
事業の概要	実施場所	業務内容	
	・地区の公民館や集会場 ・保健センター等	1 元気アップ教室 市内3カ所×12回 2 フレイル予防教室 市内3カ所×週1回×50回 3 通いの場への支援 15回	

5 社会福祉協議会の基盤強化

5-1 組織の充実

(1) 理事会・評議員会・監事会・正副会長会		事業費	2,153千円
開催時期	○理事会 6月、9月、12月、3月、随時 ○評議員会 6月、9月、12月、3月、随時 ○監事会 5月 ○正副会長会 随時		
内 容	1 定款に基づく法人業務執行の決定 2 定款に基づく監査業務の執行		

(2) 評議員選任解任委員会		事業費	26千円
開催時期	随 時		
内 容	1 評議員候補者の適任の判断		

(3) 定例会		事業費	0千円
目 的	○法人の運営及び経営状況について情報共有を図ります。		
開催時期	毎 月		
内 容	1 法人運営及び事業所の経営状況把握 2 法人運営及び事業所経営について改善策等の検討		
出席者	管理職員等		

(4) 管理者会議		事業費	170千円
目 的	○管理者の意識改革・資質向上を図ります。		
開催時期	毎 月		
内 容	1 法人運営及び事業所の経営状況把握と改善策等の情報共有 2 事業所等の課題について改善策の協議 3 管理職研修の実施		
出席者	管理職員等		

(5) 事業所会議	
目 的	○福祉サービス事業毎の課題解決及び事業所間の連携強化のために実施します。
開催時期	○通所介護事業所 偶数月 ○居宅介護支援事業所 毎 週 ○訪問介護・障がいサービス事業所 毎 月
内 容	1 福祉サービス事業の課題解決 2 事業所の経営改善
出席者	担当課長、事業所管理者等

(6) 情報セキュリティ委員会		事業費	300千円
目 的	○社協パソコンネットワークの管理・運用に関する取りまとめを行い、円滑かつ健全な運用を図ります。		
時 期	通 年		
内 容	1 情報セキュリティに関する統括、調査、検討、対処 2 情報セキュリティ対策規程、マニュアルの作成 3 ITアドバイザー委託		

5-2 財政基盤の強化

(1) 会員募集による自主財源の確保		事業費	14,400千円
目 的	○市民に社会福祉協議会事業について理解を得るよう積極的にPRし、財源の確保を目指します。		
時 期	7月～12月	対 象	全世帯・企業・団体
内 容	1 一般会費 一口 1,000円 世帯加入率78%を目標 (令和4年度75.8%) 2 賛助会費 一口 5,000円 428事業所の協力を目標 (令和4年度428事業所)		

(2) 資産運用の実施		事業費	1,374千円
目 的	○本会の経営財源の一部、および安定した経営を図るための基金等を財源として資産運用を行います。		
時 期	通 年		
内 容	1 社債、定期預金等の継続運用		

5-3 職員体制の整備と資質向上

(1) 人材育成チーム		事業費	532千円
目的	○人材育成に関する研修の実施と計画の見直し、実施後のフォローアップ、人材育成に関する事項の検討、提案を行います。		
時期	通 年		
内容	1 人材育成に関する事項の検討、提案 2 人材育成研修の実施 3 研修参加者へのフォローアップ実施		

(2) 社内提案報奨制度		事業費	660千円
目的	○業務改善等への意欲とチームワークや団結力を強化する目的で、事業所等を単位とし取組みと成果について評価し、優秀な取組みを行った事業所に報奨金を支給します。		
時期	通 年	対象者(人数)	全職員(事業所単位)
内容	1 2月管理者会にて発表会実施 2 事業所毎に成果発表、評価表にて採点し1位～5位の事業所等に報奨金を支給 3 1位～5位の取組みを全事業所で共有、改善等のヒントに活用		

(3) 副管理者研修		事業費	110千円
目的	○副管理者の意識改革、資質向上を図ります。		
時期	通 年	対象者(人数)	副管理者
内容	1 人材育成に向けた研修の実施		

(4) 専門職としての資質と知識の向上		事業費	148千円
目的	○専門職としての資質と知識の向上のために適した研修体制を整備します。		
時期	通 年	対象者(人数)	全職員
内容	1 専門知識・技術を習得するための研修(外部研修)参加		

(5) 交通安全啓発		事業費	77千円
目的	○法人全体で交通安全意識を高め、事故件数の削減を図ります。		
時期	通 年	対象者(人数)	全職員、事業所
内容	1 安全運転管理者部会にて交通安全に関する協議 2 全職員を対象とした安全運転講習の実施 3 ドライブレコーダー設置による安全運転意識向上と事故検証等に活用 4 70歳以上の送迎運転者に対する安全運転講習の実施		

(6) 職員健康管理事業		事業費	775千円
目的	○インフルエンザの感染拡大リスクを減らし、職員の健康維持を図ります。 ○ストレスチェックによる職場環境の改善を図ります。		
時期	通 年	対象者(人数)	全職員
内容	1 インフルエンザ予防接種費用3,500円の助成実施 2 ストレスチェックの実施		

(7) 資格等取得支援事業		事業費	1,587千円
目的	○資格取得に必要な資金等の支援を行うことで負担軽減を図り、資格取得者の拡充を図ります。		
時期	通 年	対象者(人数)	全職員
内容	1 サービスの質の向上、職員のキャリアアップのために資格、免許等を取得する者に受講費用等を支援 2 資格取得後5年間勤務した者の返済を免除し雇用を確保 3 資格保有者拡充により事業所加算取得体制を確立		

6 その他団体事務

(1) 岐阜県共同募金会郡上市支会		事業費	374千円
目的	○市民参加による福祉コミュニティの構築を実現するための多様な福祉活動を財源面から支援し、郡上市の福祉をより発展させていくことを目指します。		
時期	通 年	対象者(人数)	全世帯
内容	1 赤い羽根共同募金の実施(世帯募金、街頭募金、職域募金) 2 共同募金配分申請の取りまとめ		

(2) 日本赤十字社郡上市地区		事業費	1,135千円
目的	○日本赤十字社が行う災害救護活動や奉仕団活動の促進を図ります。		
時期	通 年	対象者(人数)	全世帯
内容	1 日本赤十字社資の募集(5月～10月) 2 災害義援金の受付 3 赤十字奉仕団活動の支援		